

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県 垂井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	64.11	72.69	3,850

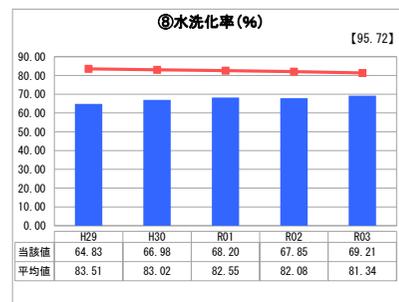
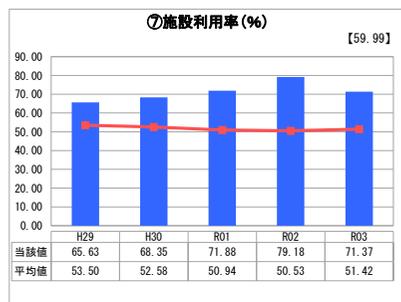
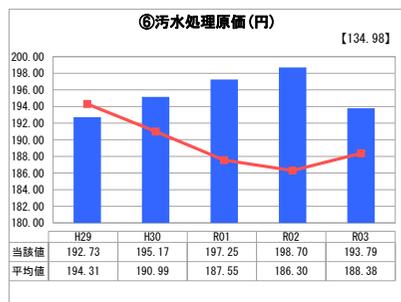
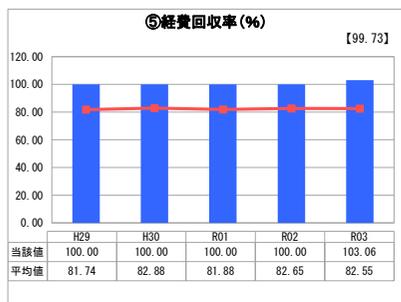
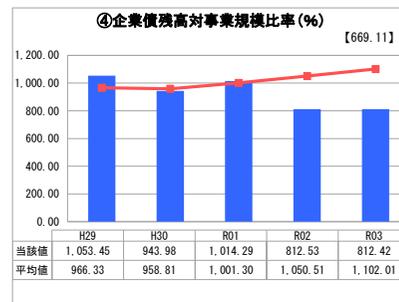
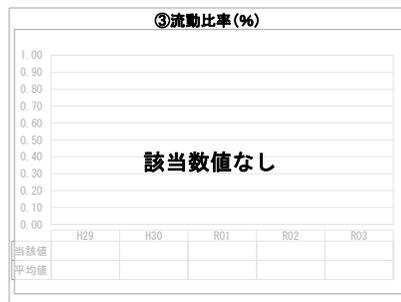
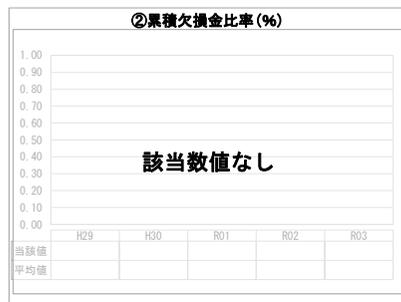
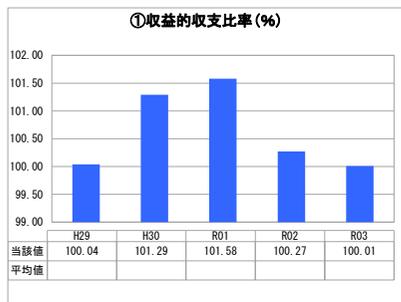
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,547	57.09	465.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
16,924	5.96	2,839.60

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、昨年度から微減しましたが、100%を上回っており単年度の収支は黒字となりました。下水道接続件数の増加により、使用料は増加すると考えていますが、整備途中であり、使用料収入等だけでは下水道償還金を賅えず、一般会計からの繰入りに依存せざるを得ない状況となっています。

④企業債残高対事業規模比率については、事業開始当初の建設に係る下水道償還の終了により減少していますが、浄化センター増設や整備区域拡大により、今後下水道債の額は増加する見込みです。

⑤経費回収率については、ここ数年はほぼ100%で、汚水処理に係る費用は使用料収入により賄われています。

⑥汚水処理原価については、今年度減少しましたが、類似団体の平均よりやや高くなっており、接続率を向上していく必要があります。

⑦施設利用率については、昨年度は破損箇所から汚水管に地下水の流入があり処理水量が増加し施設利用率が増加しましたが、修繕により今年度は減少しました。今後は整備区域拡大により増加が見込まれます。(晴天時平均処理水量を訂正 R2 78.61%)

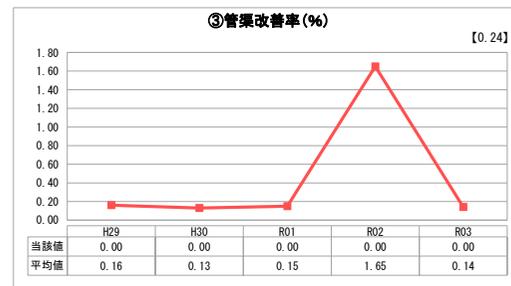
⑧水洗化率については、昨年度より増加しました。引き続き広報等でPRを行い接続率の向上を図っていきます。(処理区域内人口及び処理区域面積を訂正 H29 67.36%、R1 69.61%、R2 68.08%)

### 2. 老朽化の状況について

浄化センターはH14年の供用開始で、現時点では老朽化による心配はありませんが、将来的には施設等の老朽化による設備更新等が考えられます。管渠については、H29年度よりカメラ調査を実施し幹線管渠の点検を行っています。異常箇所が発見された場合は、直ちに修繕を行い対応しています。

今後は、ストックマネジメント計画を策定し計画的な更新と管渠の改善を継続して行います。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

整備区域の拡大により使用料収入は増加することが見込めますが、一般会計からの繰入金に依存している状況であり、維持管理費の削減や未接続世帯に対する接続の普及啓発活動を行い水洗化率の向上を目指していきます。

また、経営状況を正確に把握するため、地方公営企業法の適用に向け取り組んでいます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。